

令和5年度地域おこし学校  
こうちみませ楽舎「プレミアムクラス」  
第5回レポート (10/14)



皆さんこんにちは。秋の深まりを感じる時期になりました。

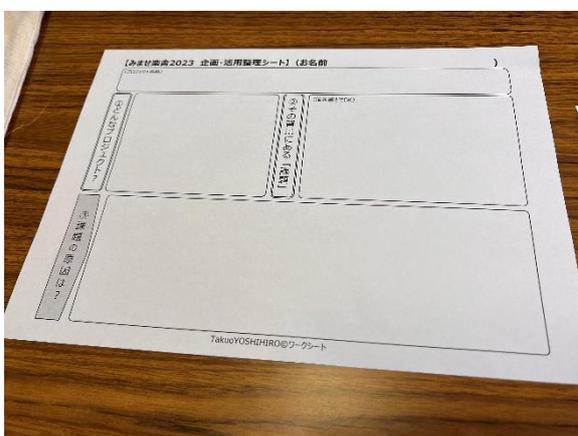
今回は、こうちみませ楽舎プレミアムクラス第5回『想いをカタチに「ロジックモデル」-論理的思考で課題を整理しよう-』のレポートになります。

第5回は、受講生が実際に実現したいプロジェクトを書き出します。「見える化」した上で、受講生同士、想いを共有する時間となりました。



まず初めに、それぞれの目指すゴール像を考えていきます。アイデアがあるにも関わらず、頭の中だけに留めておくのはナンセンス。

地域づくり同様アイデアをカタチに変えるには「対話」が最も重要、と講師の吉弘さんは伝えます。対話の仕方にもコツがあります。「知らないことをベースに、それぞれの経験や価値を融合していく」ことで関係性が構築できます。



そこで「対話」のもとになる企画・活用整理シートが登場しました。アイデアを分解し、更に深掘りをしていきます。

- ① どんなプロジェクト？
- ② その背景にある「課題」
- ③ 課題の原因は？

ワークシートに書き出すことで思考が鍛えられ、受講生自身の本当にやりたいことにアプローチしていきます。書き出すことは



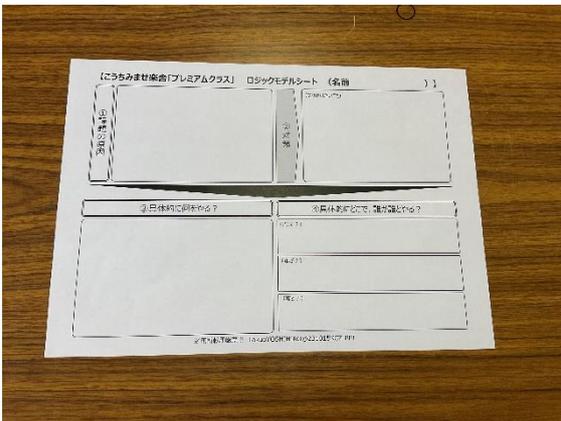
容易ではありません。筆が止まる受講生がチラホラ。

しかし、この”一時停止”が実は重要です。論理的に考えることで、アイデアの骨格がより強化されることが望めます。

では、具体的な進め方はどのように行えば良いのでしょうか？

それは、1つ1つ丁寧に分解して順序立てて考えることです。

課題があるときに、必ず原因があります。次に対策を考え、具体的な手法を取り入れます。最後に効果を発揮する流れをイメージします。



そこで、更なるワークシート（ロジックモデルシート）が登場します。課題の原因を追求し、対策を立て、具体的に何をやるのか？そして最終的に、どこで？誰が？誰と？行うのかを順番にシートに記入し可視化をします。

今回の講義の大きなポイントは、アウトプットです。書き出す時間を大幅に設けて、受講生の頭の中を理解するのが目的でした。

一度自分のアイデア・やりたいことを理解し、自分が何を目指しているのかを整えます。受講生それぞれが実現に向けて大きな一歩を踏み出しました。今後の展開が非常に楽しみです。

次回は、企画相談会 1on1DAY になります。受講生自らのプロジェクトの進捗状況や悩み等を相談し、現状の再確認の時間です。